



野瀬建築



過ごしやすくなる!あなたの住まい!

熱中症対策出来ていますか?

毎年、注意喚起される『熱中症』!総務省消防庁によると昨年5月から9月迄の五か月間に熱中症による救急搬送数は約5300人と、昨年同時期に比べ約3000人の増加となり年々増加傾向にあります。

年齢及び場所等区分別に見ると『高齢者による自宅熱中症』が最も多く全体の約半数を占めています。空調設備のみに頼らず自宅熱中症を防ぐには室内の気温を管理し日差しを遮りつつ自然の風を取り込む事です。オーニングや庇により日差しを遮る事で窓辺に日陰が作られ通り抜ける風に涼しさを感ぜられます。ナチマル感を感じたい方には緑葉を使い葉から蒸散する水分で周囲の温度を下げる事も可能です。

その他、玄関・勝手口にはドアを閉めたまま外部からの風を取り込める通風ドア。窓ガラスには日射熱を軽減し冷房効果を高める遮熱ガラスがおおすすめです。

開口部対策は以上ですがここで忘れてはならないのが建物本体への対策です。築30年程の建築物には断熱材が入っていません。断熱材は外部からの暖気・冷気の進入を防ぐ為寒さ対策にも効果的です。冷房設備や開口部等目に見える所の対策は講じる事は出来ませんが目に見えない所の対策は簡単に行える事ではありません。

野瀬建築では『熱中症対策』に関わるご相談を承っております。お気軽にお尋ね下さい。

◆(有)野瀬建築II 電話0120(34)1829、津市高茶屋七丁目6番36号(井村屋通りローソン交差点を西へ)。